

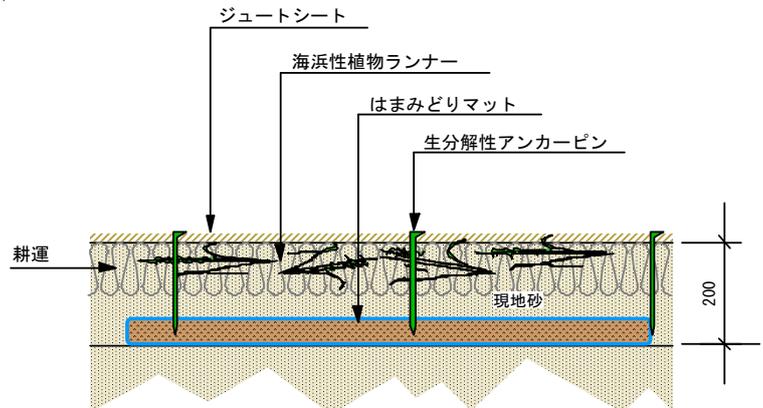
# 活用調査表

様式6

技術名 <b>在来植物による飛砂防止緑化工法「はまみどりマット」</b>	登録 No.
	26D2002

<b>施工内容</b>	
施工年度	平成27年度
発注機関	新潟県新潟地域振興局農林振興部
工事名	漁場(海)第1号漁場保全の森(防災林造成)工事
施工地	新潟市北区太夫浜地内
施工数量	320m <sup>2</sup>

**新技術の概要**  
 植生困難な海岸砂地において、地中に有機物を中心とした植生基盤マットを埋設し、海岸に潜在する種子や地下茎等から発芽・繁茂させて砂浜を安定化させ、飛砂を抑制する技術である。



構造図

**トライアル工事での評価結果**

比較した従来技術	静砂垣+オオハマガヤ植栽工	
項目	評価	評価内容
経済性	×	海浜植物ランナー散布工(現地の芝を採取し、散布)を行ったため、経済性は低下。
工程	◎	基盤をマット製品化したことにより、施工性が向上し、工程が短縮。
品質出来形	◎	垣類を使用しないため、劣化等によるメンテナンスが不要。出来形管理項目が減少。
安全性	□	従来技術と同程度。
施工性	◎	単純な機械作業であるため、熟練の作業が不要となり、施工性が向上。
環境	○	外来種を使用しないため、周辺の自然植生と調和。
その他		

◎: 優れている    ○: やや優れている  
 □: 従来技術と比べて同程度  
 △: やや劣っている    ×: 劣っている

活用上の留意点	発芽に適した時期(春期)の施工であれば、通常、海浜植物ランナー散布は不要となり、経済性は5%程度の低下(□評価)となる。
---------	--



施工完了



埋戻し状況

<b>新技術問い合わせ先</b>	
会社名	グリーン産業株式会社
所属部課	環境事業部
担当者	眞見 和樹
TEL	025-242-2702